

問1 メダカを飼う水そうの置き場所として、ふさわしくないものはどれですか。

1. 日光が直接当たる明るい窓際 まどぎわ 2. 日光は直接当たらないが、十分に明るい部屋の中 3. カーテンで直射日光をさえぎった明るい場所 ちよくしゃにっこう 4. 日光が直接当たらない明るい教室の棚 たな

問2 両目のレンズでのぞくことで、観察するものを立体的に見ることができる、倍率が20倍から40倍の顕微鏡を何といいますか。

1. ルーペ 2. 解剖顕微鏡 かいぼうけんびきょう 3. 電子顕微鏡 けんびきょう 4. そう眼実体けんび鏡 けんびきょう

問3 メダカを健康に飼うために、水そうを置く場所として最もふさわしいのはどのような場所ですか。

1. 日光が直接当たる明るいところ 2. 日光が直接当たらない明るいところ 3. 日光がまったく当たらない暗いところ 4. 日光が直接当たる暗いところ

問4 メダカのたまごの中に、からだのもとになる部分が見えてくるのは、受精してから何日目ですか。

1. 1日目 2. 5日目 3. 2日目 4. 10日目

問5 せびれに切れこみがなく、しりびれは後ろが少しふくれていて三角形に近い形をしているのは、どのメダカですか。

1. 冬眠しているメダカ とうみん 2. おすのメダカ 3. 生まれたばかりのメダカ 4. めすのメダカ

問6 めすのメダカのひれには、どのような特徴がありますか。

1. せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが短い。 2. せびれに切れこみがあり、しりびれの後ろが長い。 とくちょう 3. せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが長い。 4. せびれに切れこみがあり、しりびれの後ろが短い。

問7 受精したメダカのたまごは、たまごの中でようすが変化しながら育ちますが、子メダカが誕生するまでにおよそどれくらいの時間がかかりますか。

1. 約2か月 2. 約2日 3. 約2週間 4. 約2年 たんじょう

問8 おすのメダカのひれには、どのような特徴がありますか。

1. せびれに切れこみがなく、しりびれが平行四辺形に近い形をしている。 2. せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしている。 とくちょう 3. せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形とはちがう形をしている。 4. せびれに切れこみがなく、しりびれが平行四辺形とはちがう形をしている。

問9 メダカを飼育するとき、水そうを置く場所として最もふさわしいのはどのような場所ですか。

1. 日光が直接当たる暗い場所 2. 日光が直接当たる明るい場所 3. 日光が直接当たらない暗い場所 4. 日光が直接当たらない明るい場所

問10 生まれたばかりのメダカの受精卵と、中で赤ちゃんが育って生まれる直前のたまごの大きさを比べたとき、正しい説明はどれですか。

1. 生まれる直前になっても、たまごの大きさはほとんど変わらない じゅせいらん 2. 赤ちゃんが育つにつれて、たまごの大きさは2倍以上にふくらむ 3. 赤ちゃんが育つにつれて、たまごの大きさは半分くらいに縮む ちぢむ 4. 赤ちゃんが育つにつれて、たまごは一度大きくなってからまた縮む ちぢむ

問11 メダカを健康に飼うために、水槽を置く場所として最も適切な場所はどこですか。

1. 直射日光が一日中よく当たる場所 ちよくしゃにっこう 2. 直射日光の当たらない明るい場所 ちよくしゃにっこう 3. 光がまったく入らない暗い場所 4. ストープの近くのあたたかい場所

問12 受精したメダカのたまごの中で、だんだんとメダカらしい姿に変化していくとき、たまごの中で実際に起こる変化として正しいものはどれですか。

1. 胃や腸が動いて食べものを消化するようになる。 い ちょう 2. えらが動いて水の中で呼吸をするようになる。 こきゅう 3. 心臓が動いて血液が流れるようになる。 しんぞう 4. ひれが動いてたまごの中で泳ぎ回るようになる。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 日光が直接当たる明るい窓際 まどぎわ	水そうは日光が直接当たらない明るいところに置く必要があるため、日光が直接当たる窓際 まどぎわ はふさわしくありません。
問2	答え 4 そう眼実体けんび鏡	両目で見ることで、観察するものを立体的に見ることができる顕微鏡 けんびきょう を「そう眼実体けんび鏡」といいます。
問3	答え 2 日光が直接当たらない明るいところ	メダカを飼う水そうは、日光が直接当たらない明るいところに置くのが基本です。
問4	答え 3 2日目	受精してから2日目になると、たまごの中にメダカのからだのもとになる部分が見えてきます。
問5	答え 4 めすのメダカ	せびれに切れこみがなく、しりびれが三角形に近い形をしているのは、めすのメダカの特 徴 とくちょう です。
問6	答え 1 せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが短い。	めすのメダカは、せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが短くなっていることで、おすのメダカと見分けることができます。
問7	答え 3 約2週間	受精したメダカのたまごは、たまごの中でようすが変化しながら育ち、約2週間で子メダカ たんじょう が誕生します。
問8	答え 2 せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしている。	おすのメダカは、せびれに切れこみがあることと、しりびれが平行四辺形に近い形をしていることが特 徴 とくちょう です。
問9	答え 4 日光が直接当たらない明るい場所	メダカを飼育する水そうは、日光が直接当たらない明るい場所に置くのが正しい方法です。
問10	答え 1 生まれる直前になっても、たまごの大きさはほとんど変わらない	メダカのたまごは、生まれてから赤ちゃんが外に出てくる直前まで、その大きさはほとんど変わりません。
問11	答え 2 直射日光の当たらない明るい場所 ちよくしやにつこう	メダカを飼うときは、水温を適切に保つために、直射日光の当たらない明るい場所に水槽 すいそう を置きます。
問12	答え 3 心臓が動いて血液が流れるようになる。 しんぞう	受精したたまごの中では、体の形がわかり、目が目立つようになり、心臓が動いて血液が流れるようになるなどの変化が起こります。